



自民党・無所属 大阪府議団だより

なかい 中井もとき 議員が府議会で一般質問

中井もとき議員は12月13日に開かれた府議会の本会議で一般質問に立ち、薬局の活用や千里ニュータウンの再整備などを質問し、関西3空港のあり方についての見解を知事に求めました。



プロフィール

豊中市選出

昭和49年1月11日生、桃山学院大学経営学部 卒業。豊中市議会議員(3期)、豊中市監査委員を経て平成30年4月 大阪府議会議員 初当選。現 自由民主党大阪府連 青年局 局長代理、豊中市消防団 庄内西分団、保護員。

知事に
問う!

望ましいあり方
について

関西3空港(関西国際空港・大阪国際空港・神戸空港)のあり方 統合後の関西3空港の役割分担

Q. 中井議員 2025年大阪万博の開催も決まり、大阪・関西を訪れる外国人観光客が急増すると見込まれるなど、関西3空港を取り巻く環境は大きく変化している。いかに関西全体の航空需要の拡充につなげていくかという視点から今後の活用方針には不可欠だが、3空港の役割分担、関西の発展にとって望ましいあり方について、知事の見解は。

A. 松井知事 3空港が各々の役割を發揮し、需要拡大につなげるためには「環境への十分な配慮」と「地元理解」が大前提。関西エアポート社の経営計画など今後の運営に十分配慮し、空港は「迷惑施設」ではなく地域の発展を支える重要インフラであること、関空を中核に据えた活用方を考えること、こうした認識を関係者間で共有し、議論していくことが重要と思います。

**要望
中井議員** 3空港を有効に活用・発展させ、
関西経済の活性化へ

3空港の統合で同一主体の経営になり、より有効な戦略的棲み分けが可能となった。環境への十分な配慮と地元理解を得た上で、これからは3空港の特性に考慮しつつ、ニーズに即した路線の就航促進、アクセス機能の強化等、それぞれの空港を有効に活用・発展させ、航空輸送需要の拡大を図り、関西経済の活性化に寄与させていかなければならない。そのためには、新たな議論・展開が必要となるかもしれない。

医療費適正化と 薬局の活用

医療費の状況と取り組み…懸念される医療費の増大

疾病予防に取り組み、医療費の伸びを抑えるべき

Q. 中井議員 高齢化の進展に伴い、特に医療費の増大が懸念されているが、安心して医療を受けられる体制維持のためにも、健康増進や疾病予防(健診受診含め)に取り組み、医療費の伸びを抑えていくことが必要だ。大阪府における医療費の状況と取り組みの方向性を問う。

A. 健康医療部長 府の総医療費は約3兆2千億円(平成28年度)で、過去5年間で約3千億円余り増加。糖尿病等の生活習慣病にかかる高齢者の医療費が他府県よりも高い特徴があり、府では第3期医療費適正化計画に基づき、健診受診をはじめとする疾病予防・重症化予防を進めるため、健康マイレージの仕組みづくりや保険者が効果的な保健指導等を行えるよう、実践的プログラムの開発・提供などに取り組んでいます。

薬局の活用 ▶ 薬局の活用が病気の早期発見に効果的

**健康サポート薬局
数は大阪府が全国一
のさらなる推進を**

Q. 中井議員 豊中市の市民健康展で地域の薬剤師会が開催した血糖値などの検査を行う体験コーナーで、医療機関を受診すべき方が見つかったと聞いた。府内の薬局は約4,000件あり、身近な薬局でこうした健康管理や病気の早期発見につながる取り組みは効果的だ。薬局を活用した、府の取り組みはどうか。

A. 健康医療部長 薬局について、健康相談をもとに適切な受診勧奨などを行う「健康サポート薬局」の普及を推進しており、届出数は増えてきています。薬局を活用した健康管理が進むよう、「かかりつけ薬局」の機能の充実や「健康サポート薬局」の普及推進に取り組んでいきます。

千里ニュータウンの再整備 発展に期待、千里ニュータウンの 次なる再生への取り組み

Q. 中井議員 千里ニュータウンはピーク時の人口13万人から2000年代には9万人を切り、オールドタウンと揶揄されたが、2007年に「再生指針」が策定され、様々な取り組みの結果、この10年間で人口が約10万人までに回復。まちの若返りが進み、全国のニュータウン再生を先導している。府は、次の10年に向けて新たに「千里ニュータウン再生指針2018」を策定したが、どのように取り組んでいくのか。

A. 住宅まちづくり部長 北大阪急行の延伸など広域的な人の流れの変化や新たなニーズに対応していくために、千里中央地区の都市機能の強化やニュータウン内の公園・緑地等の充実、子育て世帯などを支える施設など、住民、地元市、事業者等の様々な主体と協働して取り組んでまいります。

千里中央地区のまちづくり リニューアルに地元の関心も 高まるが状況は?

Q. 中井議員 官民協働の合意形成の場「千里中央地区活性化協議会」は、2月(2018年)に「千里中央地区活性化基本計画」の中間とりまとめを公表し、駅の中央改札周辺エリアの再整備については、広場空間の整備やバス乗降場の集約などが再編構想イメージとして示されていたが、現在の千里中央地区における協議会での検討状況はどうか。

A. 都市整備部長 エリア全体の検討を進めており、具体的には駅周辺に点在していたバス乗降場を中央改札付近に集約するとともに、一般車とバス等の動線を分離した道路計画としています。商業施設の更新計画を深度化するなど、協議会において今年度末の「千里中央地区活性化基本計画」の策定に向け進めてまいります。

